

令和4年度 2学期学校評価

伊予市立中山中学校 令和4年12月アンケート実施

【評定の基準】  
 A 目標を達成  
 B おおむね達成  
 C あまり達成できていない  
 ※ 各評価資料の結果をもとに総合的に判断する。

【アンケートの評価基準】  
 ◎ 8割以上が肯定 ○ 6割以上が肯定 △ 6割未満が肯定  
 【アンケート】  
 4 たいへんよい 3 よい 2 あまりよくない 1 よくない ? わからない

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方針	評価資料	アンケート結果(%)					4.3の割合 (%)	評価	平均	1学期	比較		
						4	3	2	1	?							
教育課程と学習指導	教育課程の編成と実施	年間指導計画を定期的にチェックし、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施に努めている。 目標値：学校教育法に示された授業時数を100%達成	A	・2学期は学校行事が多く、保健体育科、美術科、音楽科の授業が前半多くなり、5教科の時数が不足していた時期もあったが、後半は各教科の時数のバランスがとれるように調整して、2学期末で年間授業時数のほぼ80%を消化することができている。 ・今後も年度末までの予定を計画的に授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施を達成していきたい。	時数集計票												
					*別紙にて報告												
	確かな学力の定着と向上	授業を改善し、わかる授業、興味がもてる授業を展開している。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	・生活との関連を持たせたり、生徒の思考の流れを予想したりした授業展開をする。(理科) ・家庭学習の習慣化にも繋がるような、生徒の興味・関心を惹く工夫を行い、生徒一人一人が分かる喜びを感じられる授業となるよう、継続的に授業改善を行う。(数学) ・3年生バレーボールの授業では、ゲームの様子をタブレットで録画し、自分たちのプレーを振り返って次のチーム練習の課題を話し合わせて決めさせた。やらされる練習でなく、自分たちの課題を解決しながらスモールステップでレベルアップする姿が見られた。(保健体育)	教職員アンケート①	22.2	66.6	11.1	0.0	0	89	◎	88	90	-2		
					生徒アンケート①	41.6	45.8	12.5	0.0	0	87.4	◎					
		朝ドリル・補充学習・個人指導を充実させ、一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導がなされている。 目標値：教職員、保護者、生徒の80%以上が肯定	A	・タブレットを活用し、昨年度同様、インターネットを用いた情報収集、言語事項の復習のためのドリル問題、教科書に掲載されている動画の視聴といった、通り一遍の活動にしか行うことができなかった。何か効果的な活用方法の一つ見付けたい。 ・eライブラリとEILSを1学期よりも活用することができた。eライブラリを活用した朝学習の正答率は、基礎問題68.8%、確認テストは62.6%となった。3学期は、紙面での学習を取り入れるなど、実態に応じた指導を行う必要がある。 ・タブレットの会議機能を利用し、欠席者に授業の様子を配信することができた。	教職員アンケート②	22.2	66.6	11.1	0.0	0	88.8	◎					
					保護者アンケート①	15.7	57.8	5.2	0.0	21	73.5	○					
	家庭学習の習慣が身に付いている。 目標値：1年90分以上、2年120分以上、3年150分以上	B	・テスト期間は平均200分程度学習しているが、それ以外の時期は、1時間以下の日も多いと思われる。課題を完全に仕上げていない生徒も見られるが、家庭学習の習慣が1学期よりも更に身につく、定期テストに臨む姿勢も真剣味を帯びて来た。 ・高校受験に向けて、多くの生徒は家庭学習も充実し、目標を持って苦手教科に取り組むことができるようになってきたが、習慣化されていない生徒は、課題すら満足にこなすことの出来ない状況にある。学習に遅れのある生徒ほど、フォローをしていく必要がある。	教職員アンケート③	0.0	55.5	44.4	0.0	0	55.5	△						
				生徒アンケート③	8.3	54.1	33.3	4.1	0	62.4	○						
				家庭学習時間	4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	0.5時間未満							
				1学期	4.0	4.0	48.0	32.0	12.0	0.0							
適切な量や内容の宿題が与えられている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・当日の学習内容を復習できるようにこまめに課題を出し、時間がかかる課題は2週間程度時間にゆとりを持って期限を設けている。(理科)	保護者アンケート②	10.5	52.6	31.5	5.2	0	63.1	○							
			生徒アンケート④	4.1	83.3	12.5											
学校関係者評価委員の所見					学校の対応	授業改善に常に心がけ、教員同士でお互いの授業を参観して研修し合う体制をつくっている。1時間の授業で学習内容の定着を図るため、授業の終わりに「ふりかえり」をするようにしている。タブレットやICT機器を効果的に活用した授業についてさらに研修を深めていきたい。家庭学習については、学級担任や教科担任のきめ細かい指導や適切な課題を与えることで、学習習慣が徐々に身に付いてきている。タブレットを活用したドリル学習に取り組む生徒も増えてきた。											
生き方を考える教育	心の教育の推進	道徳の時間の指導が充実し、道徳的な実践力が育っている。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	・継続的に全教職員が道徳科の指導力向上に努めるとともに、相互参観やローテーション道徳等も弾力的に取り入れ、研修機会の充実も努める。また、生徒が学習内容を日常生活で実践している姿が見られた際には、生徒の頑張りを認め、道徳的実践力の一層の向上を図る。	教職員アンケート⑧	33.3	66.7	0.0	0.0	0	100	◎	98	90	+8		
	生徒アンケート⑨	62.5	33.3	4.1	0.0	0	95.8	◎									
	進路指導	正しい勤労観・職業観等、将来の生き方や進路の適切な選択に向けて、機会をとらえて働きかけている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	B	・職場体験学習の前に、勤労観を扱う道徳の授業を行った。体験学習後には、勤労観の変容が見られ、将来の生き方を考える良い機会となった。 ・学級担任を中心に、日頃から教育相談をしたり、三者懇談を行ったりしてきたことにより本人の適性に応じた志望校を選択し、進路について決断する時期になった。入学時から、早めに早めに進路について具体的な情報を提供して意識させていくことが必要。また、学級活動や学年NETの時間だけでなく、朝の会や終わりの会等で機会を設け、高校入試やそれに関連してくる様々な事項について、生徒たちに意識させ、日々の生活に反映させることができるようにすることも大切である。 ・「進路指導」の表現が、進学や高校のイメージである保護者がいる。「進路指導・キャリア教育」の項目変更を検討する必要がある。	教職員アンケート④	22.2	66.6	11.1	0.0	0	88.8	◎					
					保護者アンケート③	10.5	47.3	31.5	0.0	10.5	57.8	△					
	集団づくり	学級にはまとまりがあり、一人ひとりを支えあう雰囲気がつくられている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・学校行事などのタイミングを捉え、一人一人が集団の一員として前向きに努力できるよう適切な目標を設定し、互いに支え合いながら成長していくことのできる雰囲気醸成する。 ・学校行事や日々の生活の中で、全体のために行動できることのすばらしさに気付くことや、感謝の気持ちを示せる雰囲気づくりをするよう声掛けや支援をしている。 ・一人ひとりが自分や相手のよいところを見つけ、お互いを認め合える学級とするために、定期的に教育相談を行ったり、助け合うことの大切さについて考えさせたりする。	教職員アンケート⑤	22.2	66.6	11.1	0.0	0	88.8	◎					
保護者アンケート④					21.0	73.6	5.2	0.0	0	94.6	○						
生徒アンケート⑥					83.3	16.7	0.0	0.0	0	100	◎						
学校関係者評価委員の所見					学校の対応	今年度、人権・同和教育研究会の会場として授業公開や講演会の機会をもつことができ、拉致問題など研修を深めることができた。授業だけでなく、道徳通信の発行も道徳的実践力の向上につながっている。進路指導については、11月以降の総合的な学習の時間で職業調べや高校調べ、進学指導などを計画的に進めている。今年度は商工会議所の方々に職業について講演や体験活動をさせていただき、生徒も興味深く取り組むことができた。											
生徒指導の充実	気持ちのよいあいさつができています。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	・教員がまずは生徒の手本となり、教員間や生徒、地域の方への気持ちの良い挨拶を心掛ける。 ・学級や部活動等で、あいさつの意義を話したり、あいさつの習慣づけを指導して、それが日常に広がっていくようになればよい。	教職員アンケート⑥	11.1	88.9	0.0	0.0	0	100	○	96	98	+2			
				生徒アンケート⑦	62.5	29.1	8.3	0.0	0	91.6	◎						
	毎日朝食をとり、服装等身だしなみを整え、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付いている。目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・登校指導や日記指導を通して、日々の生徒の些細な変化を見逃さず、変化の見られる生徒には、積極的に声掛けを行う。指導するのではなく、本人の声に耳を傾ける。	教職員アンケート⑦	22.2	77.8	0.0	0.0	0	100	◎						
				保護者アンケート⑤	21.0	68.4	10.5	0.0	0	89.4	◎						
生徒アンケート⑧	54.1	37.5	8.3	0.0	0	91.6	◎										

生徒指導の 充実	定期的な教育相談やアンケートの実施などを通して、いじめ・不登校の早期発見と早期解消に努めている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・毎月一回のアンケートの実施、スクールカウンセラーとの全校面談などを通して、その都度、生徒の様子や些細な変化を捉えてきた。今後も全教職員の目で生徒を見守り、温かい声掛けを大切にしていける必要がある。	教職員アンケート⑨	44.4	55.6	0.0	0.0	0	100	○	94	91	+3		
	様々な機会を通じて生徒とかわかり、生徒理解に努めている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・気になる生徒の情報が職員室内で話される。それを聞いた別の教職員が追加情報を伝える。情報共有による相乗効果が生徒理解と共通理解になっている。	教職員アンケート⑩	44.4	44.4	11.1	0.0	0	88.8	◎					
				保護者アンケート⑦	26.3	68.4	0.0	0.0	5.2	94.7	◎					
				生徒アンケート⑪	54.1	45.9	0.0	0.0	0	100	◎					
	学校のきまりや生活目標が共通理解され、生徒に対する指導が徹底されている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・今年度、「学校生活に関する申し合わせ事項」について曖昧な部分もあったため、生徒、保護者、教員から広く意見を集め、見直しを行った。今後も継続して時代に合った「申し合わせ事項」となるよう、見直しを行っていく必要がある。 ・頭髪、服装、靴の記名など、見逃していると、それが当たり前の雰囲気になっていくので、委員会活動なども利用してチェック機能が働くようにしておく。	教職員アンケート⑪	44.4	55.6	0.0	0.0	0	100	◎	82	95	-13		
	先生はすべての生徒に、平等に適切な指導をしている。 目標値：生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・「子どもを大事にする」という教職員の態度や姿勢を感じている。	保護者アンケート⑨	5.2	57.8	10.5	0.0	26.3	63	○					
				生徒アンケート⑫	62.5	29.1	4.1	0.0	4.1	91.6	◎					
	生徒指導と安全管理	学校関係者評価委員の所見		○気持ちのよいあいさつがよくできている。生徒会のあいさつ運動も効果を表している。地域の方から「中学生の気持ちのよいあいさつからいつも元気をもらっている」とありがたいことばをいただいている。 ○地域の方々がみんな顔なじみで、地域の方がよく声をかけてくださるのもよい影響を与えられている。 ○早くマスクを外すことができるようになって、お互いの表情が見られるようになるとさらによい。	学校の対応	学校の決まりや生活目標の共通理解についてポイントが下がっていたが、「学校生活に関する申し合わせ事項」について見直しを行い、全校生徒、保護者に再確認を行ったところである。 落ち着いた態度で学校生活が送れているが、家庭での携帯電話の利用やゲームなどの時間が長い傾向がみられる。家庭でのルール作りや正しい利用について保護者への啓発が必要となる。										
		生徒活動の 活性化	様々な体験活動を通して、思いやりや奉仕の心が育っている。 目標値：教職員、保護者の80%以上が肯定	A	・地域の方々との交流の機会を大切に(NET、各教科)、地域のために役立つ体験をさせることで、思いやりや奉仕の心を育てる。	教職員アンケート⑪	44.4	55.6	0.0	0.0	0	100	◎	95	91	+4
			学校行事を通して、集団への所属感を深め、学校生活の充実につながるよう指導の工夫がなされている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・学校行事の中で生徒が気づき、考え、実行する力を伸ばすために教職員で意識統一を図ることで、学校生活の充実につなげる。	教職員アンケート⑫	33.3	55.5	11.1	0.0	0	88.8	◎			
						保護者アンケート⑪	21.0	73.6	0.0	0.0	5.2	94.6	◎			
		部活動は生徒のために適切に行われている。 目標値：保護者の80%以上が肯定	A	・部活動の地域移行が進んでいくことになるが、ソフトテニス部には外部指導者が来てくださることになったり、バレーボール部は夜の社会体育の練習に積極的に参加したりすることができている。 ・生徒数が少なく、活動が制限されることもあるが、少ないからこそできることもあると思うので、活動内容を工夫するとともに、感染症対策をとりながら対外試合にも積極的にチャレンジしたい。 ・保護者の皆様には、車出しや大会での応援など、温かく見守っていただきたいへんありがたい。	教職員アンケート⑫	22.2	66.6	0.0	11.1	0	88.8	◎	98	98	0	
保護者アンケート⑬					10.5	63.1	15.7	5.2	5.2	73.6	○					
登下校時及び毎月の見守り活動を今後も継続し、生徒の安全確保に努めたい。					A	・登下校時及び毎月の見守り活動を今後も継続し、生徒の安全確保に努めたい。	生徒アンケート⑭	87.5	8.3	4.1	0.0	0	95.8	◎	96	100
生徒のけが、病気、事故等に適切に対処しているか。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定		A	・迅速で丁寧な対応を心掛けたい。	教職員アンケート⑬	44.4	55.6	0.0	0.0	0	100	◎					
学校安全の 推進		校内安全点検を定期的実施し、潜在危険の除去と教育環境整備に努めている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・毎月の安全点検を丁寧に行い、事故の未然防止や破損場所の早期修繕に努めることができた。また、校内施設の異状箇所を早急に報告していただいたおかげで、教育活動に支障をきたすことなく対応することができた。	教職員アンケート⑭	44.4	55.6	0.0	0.0	0	100	◎	90	100	-10	
		保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努めている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・登下校時及び毎月の見守り活動を今後も継続し、生徒の安全確保に努めたい。	生徒アンケート⑭	87.5	8.3	4.1	0.0	0	95.8	◎				
		学校関係者評価委員の所見		○コロナ禍の中、中山町内を中心に職場体験学習を5日間実施できており、ありがたい。 ○安全面について、土日の交通安全等、事故、事件に巻き込まれることのないよう地域でも見守っていききたい。来年度以降様々な行事が再開されるようになってくると思われるが、祭りや地区の運動会などでも見守りをしていくとともに、中学生の参加に期待もしている。	学校の対応	感染症対策に気を付けながら、各行事を実施することができた。 人数が少ない分一人一人の活躍の場が与えられ、充実した活動ができた。 部活動については、部員の減少で活動が難しくなっている面もあるが、合同チームや地域クラブでの練習など活動の場を模索しながら進めている。地域移行への流れもみながら、来年度以降の部活動運営を生徒、保護者と連携しながら考えていきたい。 安全面については、校舎など施設の老朽化で修理が必要な所も出てきているが、市が対応してくれている。										
教職員の 資質向上		きもちのよいあいさつができている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・生徒も教職員も互いに爽やかな挨拶を交わすことができている。教職員間の挨拶を含めた明るいコミュニケーションが、生徒や保護者にも伝わっていると感じる。	教職員アンケート⑮	44.4	55.6	0.0	0.0	0	100	◎	100	90	+10	
	来校者に対して、適切な対応を心がけている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・本校は、どの来校者に対しても、明るい挨拶や温かい対応ができていると思う。今後も丁寧な対応を心掛けたい。	教職員アンケート⑯	55.6	44.4	0.0	0.0	0	100	◎					
	健全な社会人として信頼にたる教職員となっている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・親以外で一番身近な大人である先生方の真摯さや誠実さやプラスαが、生徒に伝わっていると思われる。	教職員アンケート⑮	44.4	44.4	11.1	0.0	0	88.8	◎	90	98	-8		
	働き方改革の趣旨を踏まえ、業務改善に取り組んでいる。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・年次有給休暇の活用や、勤務時間の超過を意識した働き方改革をする。 ・全員がタブレットを使用できるようになっていることを活用して、調査やアンケートなどについてはICTで行うことで集計作業などが簡略化している。 ・ICT支援員さんに来ていただいている効果は大きい。	教職員アンケート⑯	33.3	55.5	11.1	0.0	0	88.8	◎					
開かれた 学校づくり	学校の様子や、行事などについて家庭で話している。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・家庭での話題のきっかけとして、今後も学級通信や道徳通信等を継続的に発行していく。	生徒アンケート⑰	79.1	16.6	0.0	4.1	0.0	95.7	◎	96	84	+12		
	学校の様子や行事などが、学校だよりなどでよく知らされている。 目標値：保護者の80%以上が肯定	A	・学校便りやホームページの更新などが、効果的にできている。 ・個人情報や著作権などにも配慮しながら、学校の様子や伝わるような紙面作りに努めていきたい。	保護者アンケート⑱	26.3	73.7	0.0	0.0	0.0	100	◎					
	学校、PTA、地域はよく協力して活動している。 目標値：教職員、保護者の80%以上が肯定	A	・今年度は、大半の行事が当初の予定通り実施することができ、保護者や地域の方々にも、日頃の生徒の学習活動の成果を披露することができた。行事に伴い、学校と保護者が適宜連携をとりながら活動することができた。あらゆる場面で、いつも快くご協力いただき保護者の皆さんや地域の方々には感謝しきりである。	教職員アンケート⑳	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	100	◎	92	94	-2		
学校関係者評価委員の所見		○コロナ感染が広がってから、保護者と教員が交流する場がなくなってきている。以前のような親子バレーなどがまたできるようになり、コミュニケーションをとれる場ができるといい。 ○地域行事で中学生の活躍が期待されており、行事に参加して頑張っている姿を先生方にも見に来てほしい。 ○コロナ禍で地域の伝統行事ができなくなっている状態。伝統が途切れてしまうのが心配。	学校の対応	学校行事や部活動、日々の生徒の活動の様子などホームページで子どもたちの様子を発信している。学校便りでも毎月の様子と翌月の行事予定をお知らせするようにしている。 PTA活動については、保護者の方々にたいへん協力的に活動に参加していただきありがたい。学校、保護者、地域それぞれの立場で地域の宝である子どもたちを見守り、育てていきたい。												